

【開催報告】

集中講義「MOT フィールドワークⅡ（長野編）」を開講しました

～理論と“現場の油の匂い”をぶつける「三方良し」の実践型 PBL～

本大学院では、2026 年度秋学期集中講義として「MOT フィールドワークⅡ（長野編）」を開講いたしました。本科目は、教室で修得した技術経営（MOT）理論を、経営者の思いと製造現場の油の匂いが交差する「現場のリアリティ」にぶつけ、実践的に検証・深化させる PBL（Project-Based Learning）型の特別集中講義です。

初年度となる今年度は「参加者良し・企業良し・大学良し」の「三方良し」をスローガンに掲げました。多様なバックグラウンドを持つ受講生が結集し、事前研修から現地実査、事後総括まで白熱した議論を展開しました。

《DAY1：株式会社羽生田鉄工所様訪問》

中秋の風薫る 10 月 5 日、長野駅に集合した参加者 7 名は株式会社羽生田鉄工所に移動、研修第一日目が始まりました。



長野商工会議所工業部会長をはじめ、長野県産業人クラブ会長など地域財界のけん引役の一人である代表取締役羽生田豪太様より「会社紹介」および同社が次世代事業の柱として推進する「宇宙関連事業」に関するレクチャーを頂いたあと、工場見学を行いました。

同社は創業 142 年目を迎える長野市における老舗有力製造業者であり、地域の特産品であるキノコ殺菌釜をはじめ各種圧力容器の製造に関して高い技術的優位性をお持ちです。特に圧力容器の製造に必要不可欠な「溶接技術」については長野県内でもトップクラスの技術者集団を擁しており、この強みを活かして、今後市場拡大が大きく見込まれる CFRP（炭素繊維強化プラスチック）を使用した宇宙関連産業（人工衛星等）向けの製造装置を手掛けておられます。工場見学後、参加者は事前学習で構築した仮説・質問をもとに羽生田社長とのディスカッションに臨みました。討議は 1 時間半にも及びましたがすべての質問に羽生田社長から論理一貫した淀みの無いお答えをいただき、大変有意義な研修の機会となりました。改めて羽生田社長のご厚意に深甚なる謝意を申し上げます。



集合写真：右側から４人目 代表取締役羽生田豪太様

なお当日は、日刊工業新聞社様からの取材もあり、参加者にとっても大きな励みとなりました。

《宿泊便り 善光寺宿坊》

DAY1 プログラムを無事了え、夕刻参加者は羽生田鉄工所様から善光寺に移動しました。

善光寺は創建から約1,400年を数える我が国屈指の名刹で、年間の参詣者は約300万人という全国から善男善女が集まる一大信仰地です。大本願（浄土宗）と大勧進（天台宗）の二大寺院から構成され、そのもとに合計40の宿坊が存在しており、各宿坊にはそれぞれ住職がおられます。善光寺の本尊は「一光三尊阿弥陀如来」ですが、また宿坊ごとにそれぞれ異なったご本尊が安置されています。

本日宿泊の宿坊は浄土宗に属する「淵之坊」で本尊は阿弥陀如来です。



全員善光寺は初めてという参加者はお風呂で疲れを癒したのち、煌びやかな「善光寺縁起絵伝」の掛け軸が装飾されている広間にて食膳に着きました。同坊住職・若麻績享則師差し入れの般若湯（長野の地酒）で一同乾杯を行ったあと、伝統的な精進料理に舌鼓を打ちつつ夜遅くまで熱い意見交換が行われました。



右端の写真は弘暁の善光寺本堂でのお朝事へと向かう参加者

翌日は早暁5時半から、境内巡り、本堂参拝ならびに法要参座と、静謐且つ厳粛な雰囲気の中「善光寺お朝事」に臨みました。心身ともに洗われる貴重な滞在となりました。

《DAY2：長野商工会議所様訪問》

研修第二日目は長野商工会議所専務理事の徳武高久様と中小企業支援センター長兼経営支援部長の江守雅美様をお訪ねしました。

同商工会議所は加入事業者数5千社を超える長野県最大の中核的経済団体です。

徳武専務理事は会議所運営のトップとしてまた執行部の一員として連日ご多忙を極めるなか本日の講師をご快諾頂きました。また江守センター長は、長らく中小・小規模企業の伴走支援に関われ企業経営者の人望も厚く、2022年には本学MOT倶楽部共催の「未来共創研究会」の講師としてもご登壇頂いております。

第1部では徳武専務から『長野市の産業構造と次世代への挑戦』というタイトルのもと、長野地域の産業発展の歴史的背景や地政学的要因、現在の産業構造と直面する構造的課題、それらに対する商工会議所の持続的発展に向けた伴走型支援や地域イノベーションの取組みについて熱のこもった大変有意義な講話を頂戴いたしました。

第2部では江守センター長から豊富な支援実績に基づく具体的な企業事例を挙げつつ、対話とヒアリングを通じた課題の本質把握、経営者との信頼関係醸成に向けた伴走支援の実務についてお話を頂きました。支援者と企業側との認識共有の重要性は、コンサルティングに携わる受講生、経営者受講生共に深く共鳴し、今後の実践に向けた大きな示唆を得ることができました。ご多忙のなか私どもの訪問を温かく受け入れてくださった徳武専務理事様、江守センター長様に心より感謝申し上げます。



前列中央左側 専務理事徳武高久様、同左 中小企業支援センター長 江守雅美様

《総括（全体振り返り）ミーティング：理論から実践へ》

10月11日（日）、神田神保町キャンパスにて全体総括ミーティングを開催しました。講座主任の三宅将之教授から「経営者から経営決断の生々しいお話や地域経済を支えるリアルな葛藤、現場の熱量に触れたこと、そして理論と実践について意見交換できたことは有意義であった」との講評があった後、受講生各自が準備してきた検討課題（羽生田鉄工所様への事業・工程・組織面での経営提言等）を発表・討論しました。

本ミーティングでの議論を集約し、羽生田鉄工所様へ最終成果還元レポートを提出することをもって、今年度の「フィールドワークⅡ」は完結となります。

ご多忙の中、温かくお迎えくださった株式会社羽生田鉄工所様、長野商工会議所様、関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。本トライアルで得られた貴重な成果と知見を活かし、来年度の正式科目化に向けてプログラムをさらに進化させてまいります。

報告者：客員教授 近山俊也